

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201010100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	防災事業		予算事業名	防災事業	
まちづくり目標	市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課			
施策名(中)	災害に対する防災対策を強化する		担当課長	富山恵二		担当者名	角本克樹
取組み事項	危機管理体制と住民への情報伝達手段を構築する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名	地域防災計画策定事業			防災行政無線整備事業			
	防災行政無線整備事業(保守)			災害時緊急対策事業			
根拠法規及び関連法規	災害対策基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震や台風などの自然災害や、市民の生命、財産や市民生活に重大な被害を及ぼす恐れのある事故等に備え、平常時の事前対策や緊急時の対応等体制を強化する。また、市民への情					

2 事業の概要 Do

実施の概要	災害から市民の被害を軽減するため、行政と地域、市民が一体となった防災施策が必要不可欠であり、また、災害に備えたハード、ソフトにわたる的確な準備が必要である。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	あいおい防災ネット加入者	人	2991	3230	3362	3500
	防災講演会	回	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円				
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	1.100	1.088	99	1.224	113	1.176	96
	臨時職員	0.301	0.292	97		0	0.040	-
支出内訳	人件費	9,612,763	9,221,218	96	9,571,266	104	9,732,153	102
	事業費	29,901,335	240,819,086	805	225,813,850	94	12,501,000	6
	合計	39,514,098	250,040,304	633	235,385,116	94	22,233,153	9
財源内訳	国庫支出金			-	105,127,000	-		0
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	39,514,098	250,040,304	633	130,258,116	52	22,233,153	17
合計	39,514,098	250,040,304	633	235,385,116	94	22,233,153	9	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	あいおい防災ネット加入者								
指標説明(式)	加入者数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2500	3200	128.0	3300	103.1	3500	106.1	
	実績	2991	3230	108.0	3362	104.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		あいおい防災ネット加入者1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費)÷加入者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	518	405	78.2	393	97.0	370	94.1	
	実績	433	401	92.6	385	96.0			

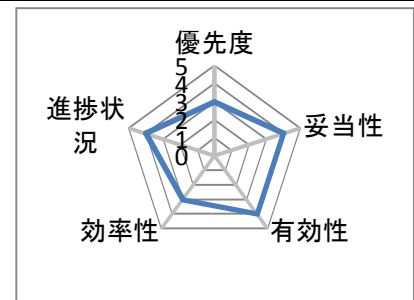
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民への情報伝達手段として、あいおい防災ネットへの加入を推進し、自治会を通してPRを行うとともに防災訓練等においてもPRを行った。また、災害時要援護者対策について、避難支援計画個人表の作成を各单位自治会に対して依頼している。	4
	市民サービス	市民への情報伝達については、複数の手段でもって、迅速に確実に行う必要がある。防災行政無線やあいおい防災ネットなどさまざまな方法で情報伝達を行う。	
効率性	コストの節減	災害時要援護者対策として、右簿の更新作業及び避難支援計画個人表の作成等コストをおさえて実施している。防災関連施策については、特にハード整備には経費が掛かるが、費用対効果を検証し、最少の経費で最大の効果が得られるようコスト削減の工夫をし取り組んでいく。	3
	手段の最適性	現行の方法が適切と考えるが、今後も手段については、検討していく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	、防災行政無線の整備については、予定通り実施できた。今後も防災、減災に向けハード、ソフト両面に取り組んでいく。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	ハード整備に多額の費用が発生する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	ハード整備に関して、コスト削減の工夫をし取り組んでいく。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201020100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	防災訓練事業		予算事業名	防災訓練事業	
まちづくり目標	市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課			
施策名(中)	災害に対する防災対策を強化する		担当課長	富山恵二		担当者名	角本克樹
取組み事項	防災意識と知識の普及・啓発を図る		実施計画への記載			主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民とともに作る安全なまち					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各地域の実態にあった防災対策等について、市民自らが行動できるように防災訓練において、より実践的な訓練を継続して実施し、市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		各小学校区ごとに、地域住民が主体となった水害等による被害を想定した避難経路や安全地帯等を確認など、より実践的な防災訓練を実施する。また、東日本大震災を教訓に津波被害を最小限に抑えるための津波対応訓練を実施する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	小(中)学校区防災訓練	回	3	3	1	1	
	小(中)学校区防災訓練	人数	955	776	450	400	
	津波対応訓練	人数					

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.104	124	0.092	88	
	臨時職員	0.020	0.020	100		0	0.012	-	
支出内訳	人件費	1,057,965	1,024,122	97	1,132,066	111	1,091,021	96	
	事業費	97,160	0	0	0	-	100,000	-	
	合計	1,155,125	1,024,122	89	1,132,066	111	1,191,021	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,155,125	1,024,122	89	1,132,066	111	1,191,021	105	
合計	1,155,125	1,024,122	89	1,132,066	111	1,191,021	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		小(中)学校区防災訓練							
指標説明(式)		開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	1	33.3	1	100.0	
	実績	3	3	100.0	1	33.3			
指標名2		小(中)学校区防災訓練							
指標説明(式)		参加人数(H23年度は津波対応訓練を含む。)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	600	450	75.0	500	111.1	400	80.0	
	実績	955	776	81.3	450	58.0			

【効率性】

指標名1		小(中)学校区防災訓練参加者1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費)÷参加者数(H23年度は津波対応訓練を含む。)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	1915	2518	131.5	2467	98.0	2978	120.7	
	実績	1210	1320	109.1	2516	190.6			

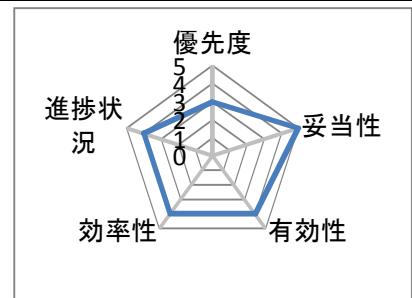
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	防災訓練の実施により、地域内の危険箇所や避難経路を再認識するとともに、地域住民が連携して取り組む必要性が習得できたと考える。	4
	市民サービス	地域の防災力の高揚と地域防災力の向上を図ることができた。	
効率性	コストの節減	訓練に必要な資機材等は整備を行うが、最少の経費で最大の効果が得られるよう、訓練内容等を工夫し実施していきたい。	4
	手段の最適性	現行の方法が最適であると考え、検討を加えながら最適の方法にて実施していきたい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	訓練実施計画通りに進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	マンネリ化を防止するために訓練内容の検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	検討を加えながら最適の方法にて実施していきたい。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201020200		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	自主防災組織事業	予算事業名	自主防災組織事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		災害に対する防災対策を強化する		担当課長	富山恵二	担当者名	角本克樹
取組み事項		防災意識と知識の普及・啓発を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		地域防災力向上事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び自主防災組織					
	誰(何)を対象として	市民及び自主防災組織					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平常時から自主防災に対する意識の醸成を図り、もって、災害時とともに助け合うことのできる体制をつくることにより、地域住民の被害を軽減させる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		「自らのまちは、自ら守る」という理念のもとに市民で結成された自主防災組織に対して、訓練指導及び訓練補助を行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	自主防災組織組織率	%	98.9	98.9	98.9	100
	自主防災訓練補助金	団体	4	3	6	16

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.028	88	0.032	114	0.028	88	
	臨時職員	0.012	0.012	100		0	0.004	-	
支出内訳	人件費	635,629	584,978	92	589,546	101	563,269	96	
	事業費	183,610	119,740	65	208,750	174	707,000	339	
	合計	819,239	704,718	86	798,296	113	1,270,269	159	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	819,239	704,718	86	798,296	113	1,270,269	159	
合計	819,239	704,718	86	798,296	113	1,270,269	159		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自主防災組織組織率							
指標説明(式)		自主防災組織結成自治会数 / 自治会数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.9	98.9	100.0	98.9	100.0			
指標名2		自主防災組織活動費補助金							
指標説明(式)		実施団体数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	17	17	100.0	17	100.0	16	94.1	
	実績	4	3	75.0	6	200.0			

【効率性】

指標名1		自主防災組織活動に係る1団体あたり訓練費							
指標説明(式)		(事業費)／訓練参加団体数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	32706	50353	154.0	43529	86.4	44188	101.5	
	実績	45903	39913	87.0	34792	87.2			

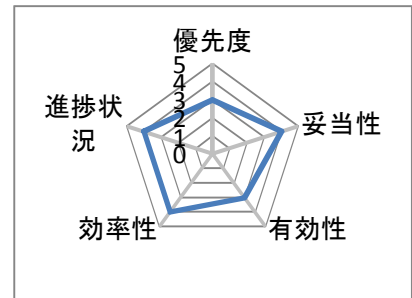
指標名2		自主防災組織訓練参加率							
指標説明(式)		訓練参加団体数／自主防災組織数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	32.1	32.1	100.0	32.1	100.0	32.1	100.0	
	実績	7.5	5.7	76.0	11.3	198.2			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	訓練補助金を利用した組織数は多少増加したが、より一層の周知が必要である。	3
	市民サービス	自主防災意識向上のため、利用増に向けた取り組みが必要である。	
効率性	コストの節減	補助要綱に基づき適切に執行できた。	4
	手段の最適性	現行の実施方法が最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	訓練補助金を利用した組織数は多少増加したが、より一層の周知が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	自主防災組織への訓練への取り組みを、財源だけでなく、人的にも支援を行っていき、自主防災組織の活発な活動を推進する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201030100		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	簡易耐震診断推進事業		予算事業名	簡易耐震診断推進事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		災害に対する防災対策を強化する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	國重・古川	
取組み事項		地震に対する予防対策を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	住宅						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震に対する安全性の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		昭和56年以前に建築された住宅を対象に耐震診断技術者を派遣し、耐震診断を実施する。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	診断件数	件	3	7	12			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.188	0.300	160	0.428	143	0.120	28	
	臨時職員			-		-	0.380	-	
支出内訳	人件費	1,815,157	2,589,854	143	3,573,406	138	2,331,213	65	
	事業費	150,000	216,300	144	370,800	171	618,000	167	
	合計	1,965,157	2,806,154	143	3,944,206	141	2,949,213	75	
財源内訳	国庫支出金			-	166,000	-	278,000	167	
	県支出金			-	83,000	-	139,000	167	
	市債			-		-		-	
	その他			-	37,080	-	61,800	167	
	一般財源	1,965,157	2,806,154	143	3,658,126	130	2,470,413	68	
合計	1,965,157	2,806,154	143	3,944,206	141	2,949,213	75		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		診断申込件数							
指標説明(式)		診断申込件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	10	100.0	20	200.0	20	100.0	
	実績	3	7	233.3	12	171.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	耐震診断を行い、地震に対する安全性を認識してもらう。	3
効率性	手段の最適性	国、県、市が診断費の補助を行い、住宅の耐震化の向上を図る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

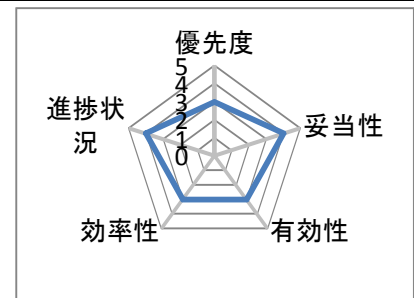
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	処理件数により、コストが増減する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	作業能率の向上によりコスト縮減を図る。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201040100	事業の種類	9
年度	28	事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業	予算事業名	急傾斜地崩壊対策事業 優先度
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		災害に対する防災対策を強化する	担当課長	山崎久司	担当者名 後藤卓
取組み事項		治山・治水対策を行う	実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名		相生地区急傾斜地崩壊対策			
根拠法規及び関連法規		急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	急傾斜地の崩壊対策			
	意図(どのような状態にしたいのか)	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、急傾斜地崩壊対策工事をし、崩壊の未然防止と被害の軽減を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		急傾斜対策 砂防 佐方地区 那波地区・旭地区				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	急傾斜対策施工延長	m	0	40.5		
	砂防堰堤施工延長	m	0	0		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.270	0.298	110	0.248	83	0.040	16	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,450,493	2,574,890	105	2,217,106	86	646,993	29	
	事業費	1,600,000	2,000,000	125	1,200,000	60	16,000,000	1,333	
	合計	4,050,493	4,574,890	113	3,417,106	75	16,646,993	487	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,050,493	4,574,890	113	3,417,106	75	16,646,993	487	
合計	4,050,493	4,574,890	113	3,417,106	75	16,646,993	487		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事完了総延長							
指標説明(式)		工事実施延長÷工事計画延長							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		m当り単価							
指標説明(式)		事業費÷実施延長							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	現在、第2工区内の権利者の土地調査を実施し、工事着工を目指す。	
効率性	負担割合の適正化	全体コストに占める市の負担割合は1割であり、地方財政法27条第1項に基づき適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	

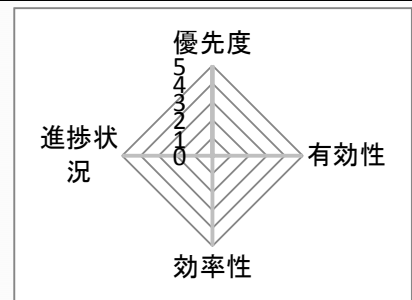
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		030202010300		事業の種類		2	
年度	28	事務事業名	消防水利整備事業	予算事業名		優先度	
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	富山恵二	担当者名	大村琢晃
取組み事項		常備消防力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		消火栓工事負担金					
根拠法規及び関連法規		消防法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	消火栓・防火水槽					
	意図(どのような状態にしたいのか)	火災による被害を最小限にするため、消火作業に最も必要な消火栓・防火水槽の点検を実施し、水利施設の維持管理を行い、消防力の充実を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		消火栓点検、防火水槽点検(1基につき年1回とする)					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	水利調査	基	825	826	806	806	
	消火栓等新設・修理	基	7	4	4	5	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費	5,100,980	3,540,800	69		0		-	
	合計	5,459,513	3,886,054	71	348,426	9	330,993	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,459,513	3,886,054	71	348,426	9	330,993	95	
合計	5,459,513	3,886,054	71	348,426	9	330,993	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水利調査							
指標説明(式)		消火栓・防火水槽の点検							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
基	目標	823	825	100.2	826	100.1	806	97.6	
	実績	825	826	100.1	806	97.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		消防水利1基あたりの維持金額							
指標説明(式)		(負担金+補修金額)÷水利数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7609	6261	82.3	5814	92.9	5642	97.0	
	実績	6183	4287	69.3	4828	112.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	消火栓・防火水槽を全て点検し、常に良好な使用状態を維持した。	3
効率性	コストの節減	改修工事にあつては、出来る限り道路工事等に併せて実施し、コスト節減に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った。	3

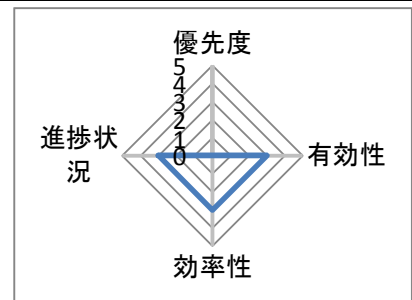
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	9

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202010700		事業の種類	1				
年度	28	事務事業名	水防業務事業		予算事業名	水防業務経費		優先度	3	
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち			担当部局名	企画総務部危機管理課				
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る			担当課長	富山恵二		担当者名	大村琢晃	
取組み事項		常備消防力を強化する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		水防法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民・市職員・消防団員・関係担当課員								
	意図(どのような状態にしたいのか)	水防計画に基づき、水防活動や避難誘導を確実にこなえるように、関係機関との連携を強化する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要										
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画				
	水防協議会	回	1	1	1	1				
	水防訓練(図上訓練含む)	回	1	1	1	1				

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100	0.024	100	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	554,205	534,898	97	529,266	99	520,593	98	
	事業費	0	17,730	-	67,392	380	117,000	174	
	合計	554,205	552,628	100	596,658	108	637,593	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	554,205	552,628	100	596,658	108	637,593	107	
合計	554,205	552,628	100	596,658	108	637,593	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水防訓練								
指標説明(式)		水防訓練回数(図上訓練含む)								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考	
	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0		
	実績	1	1	100.0	1	100.0				
指標名2		水防協議会								
指標説明(式)		水防協議会回数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考	
	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0		
	実績	1	1	100.0	1	100.0				

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	西はりま消防組合相生消防署と合同で、水防訓練を実施した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	地域防災計画等にかかる水防計画を、水防協議会にて協議した。	
効率性	手段の最適性	水防業務は、西はりま消防組合相生消防署との連携が不可欠であることから、訓練等の実施にあたって協議等を実施した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水防訓練、水防協議会を実施し、水防活動、避難誘導など市内の防災強化を図っている。	3

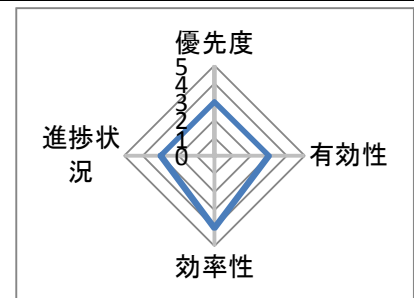
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	西はりま消防組合相生消防署との連携強化を図っていく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	より有効な訓練となるよう西はりま消防組合相生消防署と協議していく。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		030202011200		事業の種類		5	
年度	28	事務事業名	西はりま消防組合事業	予算事業名	西はりま消防組合事業	優先度	5
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		消防体制の充実、強化を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		常備消防との連携を強化する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		高機能指令センター管理事業		消防車両・資機材整備			
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	西はりま消防組合					
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来発生が予測される地震、風水害、ゲリラ豪雨や竜巻の災害に対応した消防組織の構築と消防基盤の充実、消防体制の強化のため。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防体制の強化のため、3市2町で消防・救急業務を広域で行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	組合議会開催数	回数	3	3	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.028	88	0.020	71	0.016	80	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	606,469	554,750	91	499,126	90	457,393	92	
	事業費	546,366,330	540,654,838	99	417,556,842	77	392,744,000	94	
	合計	546,972,799	541,209,588	99	418,055,968	77	393,201,393	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	546,972,799	541,209,588	99	418,055,968	77	393,201,393	94	
合計	546,972,799	541,209,588	99	418,055,968	77	393,201,393	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		西はりま消防組合構成市町数							
指標説明(式)		構成市町が増えることによりスケールメリットが大きくなる。							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
市町	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

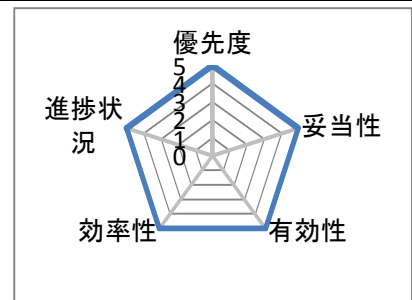
指標名1		相生署の予算							
指標説明(式)		広域化のメリットを比較するための単独署の予算推移							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
千円	目標			-	57,948	-	14,658	25.3	
	実績			-	57,948	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	広域化により、各署の応援体制等が統括されることで市民サービスが向上している。	5
効率性	手段の最適性	広域化により、各消防署の連携が確立され、体制の強化が図れている。	5
	コストの節減	広域による財政面のメリットが期待される。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	広域として順調に進んでいる。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	経費面において、広域化のメリットが出るように運営協議を進める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	広域化のメリットが出るよう、車両の配備等協議を進める。

配点	32.5
総合評価	32.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202020100		事業の種類	3		
年度	28	事務事業名	消防団活動事業		予算事業名	消防団活動事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともにつくる安全なまち			担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る			担当課長	富山恵二	担当者名	大村琢晃
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		消防分団車庫の移転・改築			消防団無線整備事業			
		消防施設維持修繕(非常備)			消防団車両・ポンプ整備			
根拠法規及び関連法規		消防組織法、消防法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、消防団員						
	誰(何)を対象として	消防団員及び消防団車両等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防団活動が円滑に行えるよう消防団車両等消防団装備を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防出初式の開催及び消防団車両等の維持管理						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	災害出動人数	人	1056	344	194	500		
	訓練出動人数	人	3970	4314	4945	4400		
	出初式参加人数	人	345	350	200	350		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.348	0.348	100	0.412	118	0.328	80	
	臨時職員	0.040	0.040	100		0	0.020	-	
支出内訳	人件費	3,152,037	3,049,750	97	3,452,846	113	2,977,573	86	
	事業費	67,200,822	50,451,760	75	2,872,163	6	3,184,000	111	
	合計	70,352,859	53,501,510	76	6,325,009	12	6,161,573	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	70,352,859	53,501,510	76	6,325,009	12	6,161,573	97	
	合計	70,352,859	53,501,510	76	6,325,009	12	6,161,573	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		災害出動人員							
指標説明(式)		出動人員							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	500	500	100.0	500	100.0	500	100.0	
	実績	1056	344	32.6	194	56.4			
指標名2		訓練出動人員							
指標説明(式)		出動人員							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	5500	4400	80.0	4800	109.1	4400	91.7	
	実績	3970	4314	108.7	4945	114.6			

【効率性】

指標名1		分団車両1台に係る年間維持管理経費							
指標説明(式)		分団車両維持管理経費÷分団車両数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	159907	161133	100.8	170063	105.5	165352	97.2	
	実績	126915	87025	68.6	120317	138.3			

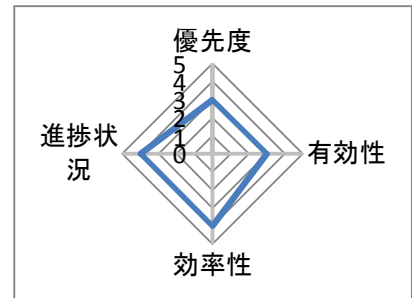
指標名2		分団員一人に係る出初式開催経費							
指標説明(式)		出初式開催に係る経費÷団員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	507	625	123.3	612	97.9	612	100.0	
	実績	468	577	123.3	578	100.2			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	必要最低限の予算で消防団車両等を適正管理することができた。	3
効率性	コストの節減	最大限のコスト削減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	資機材の整備等、消防団活動を維持するための財源確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	事業の必要性、緊急性を十分検証し、計画的かつ適正に非常備消防体制の充実を図る。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0302020200		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	消防団運営事業		予算事業名	消防団運営事業	
まちづくり目標	市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課			
施策名(中)	消防力の充実、強化を図る		担当課長	富山恵二		担当者名	大村琢晃
取組み事項	非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		消防組織法、消防法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	消防団員					
	誰(何)を対象として	消防団員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防団員の公務災害補償制度や退職報償等の各種制度を整備することにより、安心して消防団活動が行える環境整備を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防団員の表彰、任免、公務災害・退職報償、報酬、服制、消防殉職者追悼式、その他消防団事務に関すること。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	消防殉職者追悼式参列者数	人				120	
	消防団員数	人	519	519	517	520	
	表彰	人	79	84	75	80	
	退団者数	人	23	20	17	20	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.076	0.972	90	1.007	104	0.803	80	
	臨時職員	0.048	0.048	100		0	0.020	-	
支出内訳	人件費	8,812,021	7,738,670	88	7,936,171	103	6,730,073	85	
	事業費	44,204,429	42,954,417	97	42,645,107	99	44,179,000	104	
	合計	53,016,450	50,693,087	96	50,581,278	100	50,909,073	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	53,016,450	50,693,087	96	50,581,278	100	50,909,073	101	
	合計	53,016,450	50,693,087	96	50,581,278	100	50,909,073	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		消防団員数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	520	520	100.0	520	100.0	520	100.0	
	実績	519	519	100.0	517	99.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

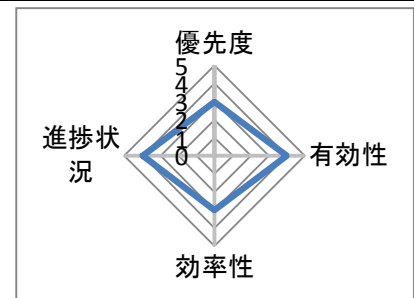
指標名1		消防団運営経費に係る消防団員一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷消防団員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	84442	93579	110.8	85088	90.9	84960	99.8	
	実績	85172	82764	97.2	82009	99.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	全国的に消防団員数の減少が見られる中、機構改革により分団数は減少したが、団員数はほぼ定数を維持している。	4
	成果目標(改善)達成度	消防団活動に対する意識改革により、各分団の出動人員が増加した。	
効率性	コストの節減	消防団運営費に係る団員一人当たりのコストを例年並み維持することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	当市における人口減少・高齢化社会による団員の確保対策を検討していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202020300		事業の種類	3		
年度	28	事務事業名	消防操法大会等事業		予算事業名	消防操法大会等事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち			担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	富山恵二	担当者名	大村琢晃	
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	消防団員						
	誰(何)を対象として	消防団員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防人としてより一層の連帯意識を高め、地域住民と一帯となった『安心・安全のまちづくり』を推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を目的として、隔年毎に開催される大会に向けて訓練を実施する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	操法訓練参加人数	人	1371	463	1410	500	
	操法訓練回数	回	43	26	34	20	
	消防フェスタ来場者人数	人	0	0			

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.052	0.004	8	0.056	1,400	0.028	50	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	761,429	375,182	49	770,386	205	552,193	72	
	事業費	1,203,073		0	684,317	-		0	
	合計	1,964,502	375,182	19	1,454,703	388	552,193	38	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,964,502	375,182	19	1,454,703	388	552,193	38	
合計	1,964,502	375,182	19	1,454,703	388	552,193	38		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		消防操法訓練回数							
指標説明(式)		訓練回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	46	20	43.5	50	250.0	20	40.0	
	実績	43	26	60.5	34	130.8			
指標名2		消防操法訓練参加人員							
指標説明(式)		訓練参加人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1520	200	13.2	1000	500.0	500	50.0	
	実績	1371	463	33.8	1410	304.5			

【効率性】

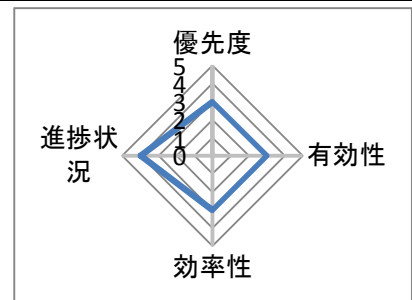
指標名1		消防操法訓練一回あたりのコスト							
指標説明(式)		(人件費+訓練出動手当+訓練・大会経費)÷大会・訓練回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	69144	26807	38.8	36150	134.9	24500	67.8	
	実績	75184	14430	19.2	60768	421.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	消防技術の向上と士気の高揚を図ること及び大会において優秀な成績を収めること。	3
	成果の向上	全体訓練を実施していく中で、分団内部の連帯意識が高まった。	
効率性	執行体制の効率性	分団員が一丸となって効率的な訓練を行うことができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	休日だけでなく、団員の仕事終了後、夜間に訓練を行うため、練習時間・人員に制約がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	安全を重視し、限られた期間で密度の濃い訓練を実施するとともに、実際の消防活動に反映させる。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202020400		事業の種類	9	
年度	28	事務事業名	相生市消防殉職者追悼事業		予算事業名	相生市消防殉職者追悼事業 優先度 3	
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	富山恵二	担当者名	大村琢晃
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	殉職者、遺族					
	誰(何)を対象として	遺族、消防職・団員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	危険な消防活動に身を挺し、不幸にも殉職された消防団員を永久に称えるため、5年毎に追悼式を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		大島山に建立されている消防殉職者慰霊碑の前で、ご遺族をはじめ参列者とともに5年毎に追悼式を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	消防殉職者追悼式参列者数	人	-	-	-	120	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-	0.020	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	488,993	140	
	事業費			-		-	190,000	-	
	合計	358,533	345,254	96	348,426	101	678,993	195	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	348,426	101	678,993	195	
合計	358,533	345,254	96	348,426	101	678,993	195		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-	120	-	
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

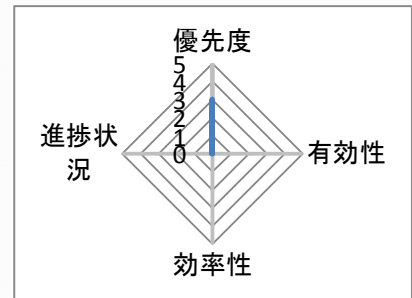
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	#VALUE!

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		030202020500		事業の種類		2	
年度	28	事務事業名	消防団施設整備事業	予算事業名	消防施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長		担当者名	
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び消防職員、消防団員					
	誰(何)を対象として	消防職員・消防団員が行う消防業務					
	意図(どのような状態にしたいのか)	災害から市民の生命、身体財産を守るため、消防職員・消防団員が円滑に活動できる環境を作り、所有する施設を適正に維持管理する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防用施設の整備及び維持管理					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	施設の改修等	回	8	7	4	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費			-	2,422,359	-	1,884,000	78	
	合計	358,533	345,254	96	2,770,785	803	2,214,993	80	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	2,770,785	803	2,214,993	80	
合計	358,533	345,254	96	2,770,785	803	2,214,993	80		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		施設整備事業に係る経費							
指標説明(式)		施設の延命化を図るため、計画的に改修等を実施し維持管理する経費(修繕+維持修繕)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1500000	5840000	389.3	1072000	18.4	1046000	97.6	
	実績	1458216	5061420	347.1	1011960	20.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持修繕を行い、施設の延命化に努めた。	
	組織運営・適正管理	施設の維持管理業務を適正に行った。	
効率性	コストの節減	施設維持経費は、消防業務を行う上で必要不可欠なため、適正に行った。	
	執行体制の効率性	施設の維持管理業務を適正に行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	分団車庫のホースタワーの改修(塗装)を行った。	

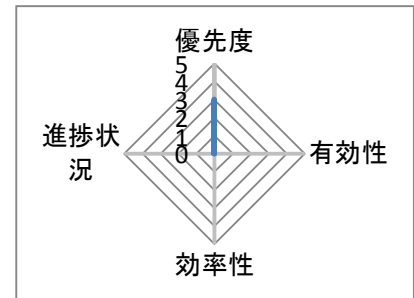
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202020600		事業の種類			
年度	28	事務事業名	消防団自動車等購入事業		予算事業名	消防自動車等購入事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともにつくる安全なまち			担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	富山恵二	担当者名	大村琢晃	
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	消防団員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防車等を整備し、多様化する災害に迅速かつ的確に対応できるようにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防車両等の更新					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	車両等の更新	台	1	1	2		
	小型動力ポンプ	台				1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費			-	28,512,000	-	1,998,000	7	
	合計	358,533	345,254	96	28,860,426	8.359	2,328,993	8	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	28,860,426	8.359	2,328,993	8	
合計	358,533	345,254	96	28,860,426	8.359	2,328,993	8		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		車両点検							
指標説明(式)		消防団車両の点検(月1回×17台)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
台	目標	204	204	100.0	204	100.0	204	100.0	
	実績	204	204	100.0	204	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		消防団車両等更新							
指標説明(式)		消防団車両等更新に係る経費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17189000	18900000	110.0	28620000	151.4	2000000	7.0	
	実績	17010000	17496000	102.9	28502000	162.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	全分団、車両点検を月1回実施した。	5
効率性	コストの節減	定期的に点検整備することにより、車両の延命を図る。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		5

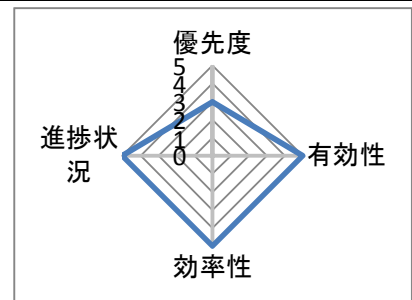
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202020700		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	消防団設備整備事業		予算事業名	消防設備整備事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち			担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	富山恵二	担当者名	大村琢晃	
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		消防法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	消火栓・防火水槽						
	意図(どのような状態にしたいのか)	火災による被害を最小限にするため、消火作業に最も必要な消火栓・防火水槽の点検を実施し、水利施設の維持管理を行い、消防力の充実を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		消火栓点検、防火水槽点検(1基につき年1回とする)					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	水利調査	基	825	826	806	806	
	消火栓等新設・修理	基	7	4	4	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費			-	4,002,360	-	4,778,000	119	
	合計	358,533	345,254	96	4,350,786	1,260	5,108,993	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	4,350,786	1,260	5,108,993	117	
合計	358,533	345,254	96	4,350,786	1,260	5,108,993	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水利調査							
指標説明(式)		消火栓・防火水槽の点検							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
基	目標	823	825	100.2	826	100.1	806	97.6	
	実績	825	826	100.1	806	97.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		消防水利1基あたりの維持金額							
指標説明(式)		(負担金+補修金額)÷水利数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7609	6261	82.3	5814	92.9	5642	97.0	
	実績	6183	4287	69.3	4828	112.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	消火栓・防火水槽を点検し、常に良好な使用状態を維持した。	5
効率性	コストの節減	改修工事にあつては、できる限り道路工事等に併せて実施し、コスト節減に努めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った。	5

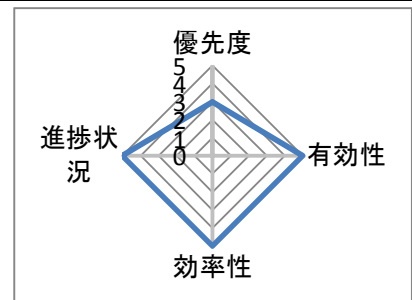
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	21